

くれよん ほっと通信



2024年8月6日発行

No.199

パープル班 クッキー作り

6月 Welくれよんのパープルではレクリエーションとしてクッキー作りを行いました。パープルの支援員にとっては初めての調理で楽しみと不安の半々でした。

レクリエーションに向けてカード学習や洗い物の練習、粘土を使っての型どりや計量の練習など日々の取り組みの中にクッキー作りに必要な事を盛り込んでいきました。洗い物の練習では多くの方がコップにギリギリまで水を入れて捨てるという洗い方をされており“すぐ”動作は難しいなと感じました。反対に器用に型取りされる姿を見て感心し、新しい一面も垣間見れました。

当日は神楽ホームを借り、エプロンに三角巾を付けて準備万端です。皆さんが全ての工程に携わって下さり、オーブンを覗きに行く利用者様もおられ出来上がりを楽しみにされているようでした。練習して頂いた洗い物も大きいものと細かいものに分担し、利用者様も内側外側を意識されてスムーズに洗い終えることが出来ました。

そして最後の難関です。クッキーを冷やす間くれよんに戻ります。帰る道中やはり心配していたようにクッキーを気にする声も聞こえましたが、その後皆さん落ち着いて3コマ目を過ごされ、休憩時間に食べて頂きました。皆さん美味しいと仰ってあつという間に完食されました。

利用者様に新しいことをして頂くとき、難易度の高さや発作を誘発しないかなど様々な不安に苛まれますが、今回のクッキー作りを通して普段気づかない一面を知ることが出来、また新しい課題を見つける事も出来ました。何よりわくわくしている表情に支援員が温かい気持ちにさせて頂きました。これからも色々なことに挑戦して互いに成長していくらと思います。

支援員 藤高 文世

くれよん方式

理事長 中山 一

くれよん方式で言葉を大切にする理由はいろいろありますが、今日は「先手」のお話をします。自閉傾向が強く、発作をお持ちの方に対しては先手で名前を呼び、意識レベルを上げて適応行動をとっていただきますが、そうでもない方に多いのが「気引き行動」つまり「かかわりを求めてちょっと困る行動をする行為」に対しても先手の声かけが最良の対処法になるのです。かかわってもらおうとして行動されるのですから、先手で声をかけていけばわざわざ関わってもらおうとややこしい行動をする必要がなくなるわけです。かかわりを求める必要がないから行動は落ち着き、促しに応じて適応行動をするからよりスムーズにいく、という好循環が生まれます。

続きは次回に…

YouTube チャンネルも随時更新中！→



8月の予定

全体

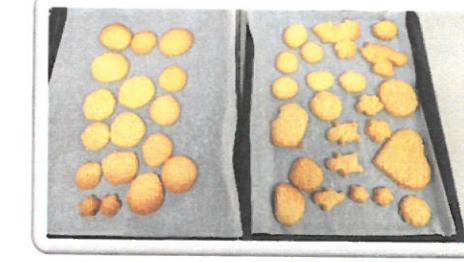
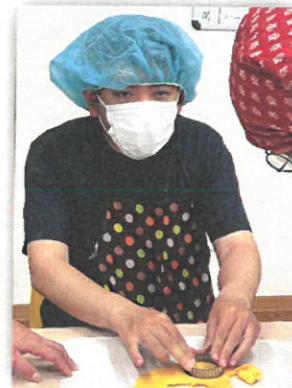
- 20日(火) 工賃日
26日(月) ダンスプログラム
27日(火) 運営会議(半日帰り)

Wel

- 7日(水) 卓球
21日(水) 卓球
22日(木) 夏祭り
(イエロー・パープル・ブルー)
23日(金) 夏祭り(オレンジ・ミント)

With

- 7日(水) 卓球(アクア・バレンシア)
17日(土) ヨガ
21日(水) 卓球(パール・ゴールド・プラチナ)
22日(木) 夏祭り(アクア・バレンシア)
28日(水) 夏祭り(パール・ゴールド・プラチナ)



くれよんホーム神楽

[共同生活援助・短期入所]

〒 653-0836 神戸市長田区神楽町 5-3-14-2
📞 078-646-3515 📧 078-646-3516
✉ mitsuki.shimomura@crayon.or.jp

Withくれよん Welくれよん

[就労継続支援 B型]

〒 653-0038 神戸市長田区若松町 4-4-1
📞 078-385-1982 📧 078-797-4009
✉ 078-385-1984 078-786-3551
✉ crayon@crayon.or.jp
🌐 http://www.crayon.or.jp

[生活介護]

〒 653-0036 神戸市長田区腕塚町 5-3-1
📞 080-4641-9040